

第31回宮城県・仙台市障害者スポーツ大会 大会要綱

	ページ
第31回宮城県・仙台市障害者スポーツ大会 開催要綱	1
＜ 各競技大会 実施要項 ＞	
陸上競技	5
卓球競技（一般卓球・サウンドテーブルテニス）	9
フライングディスク競技	12
アーチェリー競技	15
ボウリング競技（宮城県大会）	18
（仙台市大会）	20
水泳競技（知的障害者）	22
第3回宮城県障がい者ボッチャ大会	25
第3回仙台市障害者ボッチャ大会	29
第33回東北身体障がい者選手権水泳競技大会 実施要綱	32

第 3 1 回宮城県・仙台市障害者スポーツ大会

兼 特別全国障害者スポーツ大会選考会

開 催 要 綱

1 目 的

スポーツを通じて体力の維持・増進を図り、明朗快活かつ積極的な性格と協調精神を養い、明るい生活の形成に寄与するとともに、県民・市民との交流により、障害者に対する深い理解と関心の高揚を期し、もって障害者の社会参加促進に資することを目的とする。

2 名 称

第 3 1 回宮城県・仙台市障害者スポーツ大会

3 主 催

宮城県／仙台市／一般社団法人宮城県障害者スポーツ協会／一般社団法人仙台市障害者スポーツ協会

4 共 催

社会福祉法人宮城県障がい者福祉協会／社会福祉法人仙台市障害者福祉協会

宮城県知的障害者福祉協会／一般社団法人宮城県手をつなぐ育成会

仙台市知的障害者関係団体連絡協議会／みやぎ精神障害者スポーツ推進協議会

N P O 法人仙台市精神保健福祉団体連絡協議会

5 主 管

第 3 1 回宮城県・仙台市障害者スポーツ大会実行委員会

一般財団法人宮城陸上競技協会／仙台市陸上競技協会／宮城県卓球協会

一般財団法人宮城県水泳連盟／宮城県ボウリング連盟／宮城県アーチェリー協会

宮城県障害者卓球協会／東北身体障がい者水泳連盟／みやぎ障害者フライングディスク協会

杜の都アーチェリークラブ／宮城ボッチャ協会／宮城県障害者スポーツ指導者協議会ボッチャ部会

6 協 力 (予 定)

公益社団法人宮城県医師会／一般社団法人仙台市医師会／公益社団法人宮城県柔道整復師会

東北学生陸上競技連盟／一般財団法人宮城県水泳連盟学生委員会／東北福祉大学

仙台大学／東北文化学園大学／仙台白百合女子大学／仙台青葉学院短期大学

仙台保健福祉専門学校／仙台リゾート&スポーツ専門学校／仙台医健・スポーツ専門学校

宮城県障害者スポーツ指導者協議会／仙台市障害者スポーツ指導者協議会

7 後 援 (予 定)

宮城県教育委員会／仙台市教育委員会／公益財団法人宮城県スポーツ協会

仙台市スポーツ協会／社会福祉法人宮城県社会福祉協議会

社会福祉法人仙台市社会福祉協議会／ 河北新報社／朝日新聞仙台総局／

産経新聞社東北総局／毎日新聞仙台支局／読売新聞東北総局／日刊スポーツ新聞社東北総局

NHK 仙台放送局／**TDC** 東北放送／ 仙台放送／ エフエフエフ／**khb** 東日本放送／**Date fm**

J : COM 仙台／ fm797／ラジオ3 FM 7 6.2／ エフエムたいはく株式会社

8 協 賛

協 賛 各 社

9 開催日程及び競技会場

競技・種目	大会名称	日 程	会 場	対 象
ボッチャ	第3回宮城県障がい者ボッチャ大会（北部大会）（☆1）	4月23日（日）	美里町トレーニングセンター	身体（肢体不自由）
	第3回宮城県障がい者ボッチャ大会（南部大会）（☆1）	4月30日（日）	大河原町総合体育館	
	第3回仙台市障害者ボッチャ大会（☆2）	5月20日（土）	仙台市宮城野体育館	
陸上競技	第31回宮城県・仙台市障害者スポーツ大会 －陸上競技大会－	5月14日（日）	弘進ゴム アスリートパーク仙台	身体（肢体・視覚・聴覚・ 内部※）・知的・精神
サウンドテーブルテニス	第25回宮城県・仙台市障害者卓球大会	5月21日（日）	仙台市宮城野体育館	身体（視覚）
アーチェリー	第31宮城県・仙台市障害者スポーツ大会 －アーチェリー競技大会－	5月21日（日）	仙台市宮城野体育館 アーチェリー場	身体（肢体・聴覚・内部※）
ボウリング	宮城県知的障がい者ボウリング大会（☆1）	4月22日（土）	コロナキャットボウル仙台	知的
	仙台市知的障害者ボウリング大会（☆2）	5月13日（土）	タイトーステーション ボウルグルーバース仙台	
卓 球	第25回宮城県・仙台市障害者卓球大会	5月28日（日）	仙台市宮城野体育館	身体（肢体・聴覚） 知的・精神
フライングディスク	第31回宮城県・仙台市障害者スポーツ大会 －フライングディスク大会－	5月28日（日）	シェルコムせんだい	身体（肢体・視覚・聴覚・ 内部※）・知的・精神
水 泳	第33回東北身体障がい者選手権水泳競技大会	6月 4日（日）	セントラルスポーツ宮城 G21プール	身体（肢体・視覚・聴覚）
	第27回宮城県・仙台市知的障がい者水泳大会			知的

【注】 ☆1：宮城県代表選手選考会（仙台市以外の居住者のみ出場可能）。

☆2：仙台市代表選手選考会（仙台市居住者のみ出場可能）。

※：内部障害は、ぼうこう又は直腸機能障害のみ

1 0 競技種目・競技方法・競技規則・障害区分

- 1) 競技種目・競技方法・競技規則・障害区分は、各競技大会要項のとおりとする。
- 2) 競技はアーチェリー、フライングディスク、ボッチャ、卓球の精神の部を除き、次の年齢区分で競技を行う。なお、年齢区分の基準日は2023年4月1日とする。
 - (1) 身体障害：1部（39歳以下）、2部（40歳以上）
 - (2) 知的障害・精神障害：少年の部（19歳以下）、青年の部（20歳から35歳）、壮年の部（36歳以上）

1 1 表 彰

- 1) 各競技大会とも、原則として各組、障害区分、年齢区分ごとに1位から3位までに入賞した選手にメダルを授与する（組に異なった障害区分または年齢区分がある場合は、その区分による）。ただし、各組・各障害区分または年齢区分において、出場数が3名以下の場合は1位のみを表彰する。
- 2) 表彰式の実施、メダル授与等に関しては、各競技大会の実施要項のとおりとする。

1 2 大会出場資格

- 1) 宮城県内に現住所を有する2023年4月1日現在満12歳以上の者で、身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けた者。もしくはその取得の対象に準ずる障害のある者、及び主催者が認めた者。ただし、申込時に施設や学校等に入所及び通所並びに通学する者は、その所在地から出場できる。
- 2) 各競技大会要項の障害区分に該当する者で、大会出場に際して、健康上特に問題のない者。
- 3) 選考会の重複出場はできないものとする。ただし、団体競技において県又は市代表決定戦にて敗退した選手の個人競技への出場は認める。

1 3 出場申し込み方法

出場希望者は競技種目を選択し、別紙様式の申込用紙に必要な事項を記入の上、各競技大会要項に記載する申込締め切り日までに申し込み先へ提出すること。なお、申し込み締め切り以降の出場受付及び種目変更の受付は一切行わないので注意すること。

1 4 健康・安全管理

- 1) 出場選手の健康・安全管理については、事前に医師の診断を受けるなど、各自において十分配慮すること。
- 2) 主催者においては、大会時の傷害保険の加入と応急処置を行う以外については、一切責任を負わない。なお、競技中の負傷に対する補償は、大会において加入する保険の適用範囲内とする。普段の練習の事も含めて考えて不足と思われる際は、各自において別途加入すること。

1 5 個人情報の取り扱い

参加申込書に記載の個人情報は、参加受付・プログラム作成等の本大会の運営、成績の報道発表・公式ホームページ等への掲載、大会主催者からの資料送付・情報提供に使用する。また、大会出場中における映像・写真・記事・記録等への掲載権は主催者に属する。

1 6 その他

- 1) 大会当日における昼食・雨具等は、各自で用意すること。
- 2) 競技用具は原則として主催者で用意する。ただし、卓球のラケット、アーチェリーの弓具などは各自で用意すること。また、練習に使用する用具（ボール、ウォーミングアップで使用する用具等）も各自で用意すること。
- 3) 事前に自宅等で体温を測るなど、健康管理に努めること。体調がすぐれない者の会場への入場はできない。
- 4) 競技中以外はマスクを着用すること。なお、マスクは必ず持参すること。
- 5) こまめな手洗い、アルコール等による手指の消毒を行うこと。
- 6) 競技中以外は、対人距離をしっかりと確保し、大きな声での応援は控えること。

- 7) 介助者については、最小限の人数で実施すること。
- 8) 新型コロナウイルス感染症の感染状況により、大会開催前又は開催中に政府・自治体等から各種要請が発出された場合は、主催及び関係者で協議のうえ、大会日程の変更又は中止等を決定する。
- 9) 選手控所、観覧席等の利用は必要最小限とし、競技終了後は速やかに退出すること。なお、着席する場合は間隔を空けて着席すること。
- 10) その他の感染予防対策については、日本パラスポーツ協会のガイドラインを基準とした上で、競技大会ごとに設ける。
- 11) 荒天や不測の事態により、競技内容を変更する場合がある。

1.7 全国障害者スポーツ大会派遣選手の選考及び派遣について

- 1) 各競技大会に出場した選手の記録（陸上競技、フライングディスクの精神の部を除く）は、下記全国大会の宮城県および仙台市代表選手団の派遣候補選手選考の参考記録となり、別途開催される選考委員会において、全国大会主催者（鹿児島県）により指定された出場競技・選手数に基づき、障害、性別、年齢、出場経験等を考慮して最終決定される。ただし、全国障害者スポーツ大会開催基準要綱により、2023年4月1日現在、満13歳以上の選手が選考対象となる。

< 特別全国障害者スポーツ大会 選手団派遣日程 >

2023年10月26日～31日（本大会 10月28日～30日） 於：鹿児島県

- 2) 全国大会への派遣は、仙台市内に居住する者は仙台市から、仙台市以外の市町村に居住する者は、宮城県から派遣される。ただし、申込時に施設や学校等に入所及び通所並びに通学する者は、その所在地から参加できるものとする。

※ 選手選考・派遣に関する問合せ先

- 宮城県選手団
身体・精神障害の部：宮城県障害者社会参加推進センター
知的障害の部：一般社団法人宮城県障害者スポーツ協会
- 仙台市選手団
身体・精神障害の部：一般社団法人仙台市障害者スポーツ協会
知的障害の部：仙台市知的障害者関係団体連絡協議会

第31回宮城県・仙台市障害者スポーツ大会 陸上競技大会

兼 特別全国障害者スポーツ大会選考会

実施要項

1 目的

スポーツを通じて体力の維持・増進を図り、明朗快活かつ積極的な性格と協調精神を養い、明るい生活の形成に寄与するとともに、県民・市民との交流により、障害者に対する深い理解と関心の高揚を期し、もって障害者の社会参加促進に資することを目的とする。

2 主催

宮城県／仙台市／一般社団法人宮城県障害者スポーツ協会／一般社団法人仙台市障害者スポーツ協会

3 共催

社会福祉法人宮城県障がい者福祉協会／社会福祉法人仙台市障害者福祉協会／宮城県知的障害者福祉協会
一般社団法人宮城県手をつなぐ育成会／仙台市知的障害者関係団体連絡協議会
みやぎ精神障害者スポーツ推進協議会／NPO 法人仙台市精神保健福祉団体連絡協議会
一般財団法人宮城陸上競技協会／仙台市陸上競技協会

4 主管

第31回宮城県・仙台市障害者スポーツ大会陸上大会実行委員会
一般財団法人宮城陸上競技協会／仙台市陸上競技協会

5 協力(予定)

公益社団法人宮城県医師会／一般社団法人仙台市医師会／公益社団法人宮城県柔道整復師会
東北学生陸上競技連盟／東北福祉大学／仙台大学／東北文化学園大学／仙台白百合女子大学
宮城県障害者スポーツ指導者協議会／仙台市障害者スポーツ指導者協議会

6 大会期日・日程

【期日】2023年5月14日(日)

【日程】選手受付 9:00～9:30 / 競技 10:00～16:00

※ 開会式、閉会式および表彰式は感染対策を講じながら実施予定。

7 競技会場

弘進ゴムアスリートパーク仙台(仙台市陸上競技場) 仙台市宮城野区宮城野2丁目11-6

8 競技種目

【別表-第31回宮城県・仙台市障害者スポーツ大会陸上競技大会実施競技種目表】による。

9 競技規則

「全国障害者スポーツ大会競技規則」の他、本大会要項及び申し合わせ事項による。

10 参加資格

- 1) 宮城県内に現住所を有する2023年4月1日現在、12歳以上の者で、身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けた者。もしくはその取得の対象に準ずる障害のある者、及び大会主催者が認めた者。ただし、申込時に施設や学校等に入所、通所、通学する者は、その所在地から出場できるものとする。
- 2) 大会出場に際して、健康上特に問題のない者。
- 3) 他の選考会(水泳・卓球・フライングディスク・アーチェリー・ボウリング・ボッチャ・団体競技北海道・

東北ブロック予選) にエントリーしたものは、本大会へ出場できない。

1.1 出場制限

- 1) 出場種目は1人2種目以内とする。ただし、知的障害の部に出場する選手は、競走種目(リレーを除く)から1種目、跳躍及び投てき種目から1種目を選択すること。なお、各障害区分において出場可能な種目は、【別表：第31回宮城県・仙台市障害者スポーツ大会陸上競技大会実施種目表】で確認すること。該当する障害区分については、【別紙：障害区分の解説】を参照すること。
- 2) 4×100mリレーは、男女別で行う。「リレー申込書」にメンバーを記入して提出すること。出場は1団体につき2チームまでとし、チーム名の後に「A」「B」で区別すること。また、リレーのみをエントリーする者も「出場申込書」を提出すること。なお、4×100mリレーは、出場種目数に含まないものとする。
- 3) 申込書に自己記録を記入すること。

1.2 表彰

- 1) 各種目の各組・障害区分・年齢区分ごとに1位から3位までに入賞した選手にメダルを授与する。(組に異なる障害区分または年齢区分がある場合も区分ごとに表彰を行う。)ただし、当日出場する選手が3名以内のときは、1位の者にのみメダルを授与する。
- 2) 知的障害の部100m競走は、男女別総合1位の選手にベストタイム賞を授与する。

1.3 申込方法

別紙「申込総数票」、「出場申込票」、「リレー申込書」を作成し、下記申し込み先へ持参、FAX、郵送により、下記申込み締切日までに提出するものとする。

※ 申込み締切り日以降の申込み、選手および出場種目の変更はいかなる理由があっても認めない。

1.4 申込締切日

2023年3月24日(金) までに下記申込先まで申し込むこと。(厳守) ※郵送の場合、当日消印有効

1.5 申込先

【仙台市内在住、通所・入所、通学の方】

(一社) 仙台市障害者スポーツ協会

〒983-0039 仙台市宮城野区新田東4-1-1

FAX: 022-236-8691

【仙台市以外に在住、通所・入所、通学の方】

(一社) 宮城県障害者スポーツ協会

〒983-0836 仙台市宮城野区幸町4-6-2

FAX: 022-257-1062

1.6 組み合わせ・競技日程

競技の組み合わせは、主催者において行う。競技日程は、代表者会議において提示する。

1.7 アスリートビブス(ナンバーカード)

アスリートビブス(ナンバーカード)は、主催者が配布するものを使用する。

1.8 荒天時の取り扱い

原則として、雨天決行とする。ただし、やむなく中止とする場合は、競技会当日の午前6時00分に、一般社団法人宮城県障害者スポーツ協会のホームページにて通知する。

1.9 健康・安全管理

- 1) 出場選手の健康・安全管理については、事前に医師の診断を受けるなど、各自において十分配慮すること。
- 2) 主催者においては、大会時の傷害保険の加入と応急処置を行う以外については、一切責任を負わない。なお、競技中の負傷に対する補償は、大会において加入する保険の適用範囲内とする。普段の練習の事も含めて考えて不足と思われる際は、各自において別途加入すること。

20 個人情報の取り扱い

参加申込書に記載の個人情報は、参加受付・プログラム作成等の本大会の運営、成績の報道発表・公式ホームページ等への掲載、大会主催者からの資料送付・情報提供に使用する。また、大会出場中における映像・写真・記事・記録等への掲載権は主催者に属する。

21 その他

- 1) 大会当日の昼食および雨具等は、各自で用意すること。
- 2) 競技用具は原則として主催者で用意する。但し、練習に使用する用具（ウォーミングアップで使用する用具等）については各自で用意すること。
- 3) 本競技会に関する「代表者会議」を開催する。申し込んだ者は個人出場の方も含め、参加すること。
- 4) 事前に自宅等で体温を測るなど、健康管理に努めること。体調がすぐれない者の会場への入場はできない。
- 5) 競技中以外はマスクを着用すること。なお、マスクは必ず持参すること。
- 6) こまめな手洗い、アルコール等による手指の消毒を行うこと。
- 7) 競技中以外は、対人距離をしっかりと確保し、大きな声での応援は控えること。
- 8) 介助者については、最小限の人数で実施すること。
- 9) 選手控所、観覧席等の利用は必要最小限とし、競技終了後は速やかに退出すること。なお、着席する場合は間隔を空けて着席すること。
- 10) 荒天や不測の事態により、競技内容を変更する場合がある。

22 全国障害者スポーツ大会派遣選手の選考及び派遣について

- 1) 本大会に出場した選手の記録（精神の部を除く）は、下記全国大会の宮城県および仙台市代表選手団の派遣候補選手選考の参考記録となり、別途開催される選考委員会において、全国大会主催者（鹿児島県）により指定された出場競技・選手数に基づき、障害、性別、年齢、出場経験等を考慮して最終決定される。ただし、全国障害者スポーツ大会開催基準要綱により、2023年4月1日現在、満13歳以上の選手が選考対象となる。

< 特別全国障害者スポーツ大会 選手団派遣日程 >

2023年10月26日～31日（本大会 10月28日～30日） 於：鹿児島県

- 2) 全国大会への派遣は、仙台市内に居住する者は仙台市から、仙台市以外の市町村に居住する者は、宮城県から派遣される。ただし、申込時に施設や学校等に入所及び通所並びに通学する者は、その所在地から参加できるものとする。

※ 選手選考・派遣に関する問合せ先

- 宮城県選手団 身体・精神障害の部：宮城県障害者社会参加推進センター
知的障害の部：一般社団法人宮城県障害者スポーツ協会
- 仙台市選手団 身体・精神障害の部：一般社団法人仙台市障害者スポーツ協会
知的障害の部：仙台市知的障害者関係団体連絡協議会

【別表：第31回宮城県・仙台市障害者スポーツ大会 陸上競技大会 実施競技種目表】

◎ 男女別・年齢区分別 ▲ 男女別・年齢区分なし

部門	区分番号	障害区分	競走							跳躍			投てき					
			50m※1	100m	200m	400m	800m	1500m	スラローム	4×100mリレー※2	走高跳	立幅跳	走幅跳	砲丸投	ソフトボール投	ジャベリックスロー	ビーンバッグ投	
肢体不自由	肢体1	上肢	1 手部切断 片前腕切断または、片上肢不完全 片上腕切断または、片上肢完全	◎	◎								◎	◎	◎	◎		
			2 両前腕切断または、 片前腕および片上腕切断 両上肢不完全	◎	◎				◎※3		▲	◎	◎					
			3 両上腕切断または、両上肢完全	◎	◎						▲	◎	◎					
		下肢	4 片下腿切断または、片下肢不完全	◎	◎							◎	◎	◎	◎	◎		
			5 片大腿切断または、片下肢完全	◎	◎							◎	◎	◎	◎	◎		
			6 両下腿切断	◎	◎							◎		◎	◎	◎		
			7 片下腿および片大腿切断 両下肢不完全	◎								◎		◎	◎	◎		
			8 両大腿切断または、両下肢完全											◎	◎	◎		
	体幹	9 体幹 ※3	◎	◎							◎	◎	◎	◎	◎			
	肢体2	車いす常用・使用 脳原性麻痺以外で	10 第6頸髄まで残存	◎	◎					◎							◎	
			11 第7頸髄まで残存		◎	◎		◎	◎	◎							◎	
			12 第8頸髄まで残存		◎※4	◎※4		◎	◎	◎				◎	◎	◎		
			13 下肢麻痺で座位バランスなし		◎	◎		◎						◎	◎	◎		
			14 下肢麻痺で座位バランスあり		◎	◎		◎※4	◎※4					◎	◎	◎		
			15 その他の車いす		◎※4	◎※4		◎	◎					◎	◎	◎		
	肢体3	脳原性麻痺（脳性麻痺、 脳血管疾患、脳外傷等）	16 四肢麻痺で車いす使用	◎						◎							◎	
			17 けって移動	◎						◎							◎	
			18 片上下肢で車いす使用	◎						◎					◎	◎		
			19 上肢で車いす使用	◎	◎	◎		◎	◎	◎				◎	◎	◎		
			20 その他走不能											◎	◎	◎		
			21 上肢に不随意運動を伴う走可能	◎	◎	◎			◎			◎	◎	◎	◎	◎		
			22 その他走可能	◎	◎	◎			◎			◎	◎	◎	◎	◎		
	肢体4	23 電動車いす常用							◎							◎		
視覚障害	24 視力0から0.01まで ※5	◎	◎	◎		◎	◎				◎	◎	◎	◎				
	25 その他の視覚障害	◎	◎	◎		◎	◎			▲	◎	◎	◎	◎				
聴覚・平衡機能障害、音声・言語・そしゃく機能障害	27 聴覚障害	◎	◎	◎		◎	◎			▲	◎	◎	◎	◎				
知的障害	28 知的障害		◎	◎	◎	◎	◎		▲	▲	◎	◎		◎	◎			
内部障害	29 ぼうこう又は直腸機能障害	◎						◎			◎	◎		◎	◎			
精神障害	30 精神障害		◎	◎	◎	◎	◎			▲	◎	◎		◎	◎			

※1 50m競走で使用する車いすは日常生活用とする。

※2 4×100mリレーは男女別とする。

※3 体幹とは頸部・胸部・腹部及び腰部（脊柱）のみに変形がある者（脊椎カリエス等による体幹の障害が該当する）。ただし、四肢の機能障害を伴う場合は、体幹の機能障害があってもこの区分には該当しない。

※4 複数の障害わたり1つの◎がついている場合は、1つの区分として競技を行い、順位を決定する。

※5 障害区分24は光を通さないアイマスクまたはアイシールドを装着する。なお、視力は、「矯正後の良い方の視力」で判定する。視力の判定の際、光覚弁、手動弁は視力0、指数弁視力0.01とする。

【注】競走競技は50mと100m、跳躍競技は立幅跳と走幅跳、投てき競技は障害区分8を除き、ソフトボール投げとジャベリックスローの両方に申し込むことはできない。

第25回 宮城県・仙台市障害者卓球大会 実施要項

兼 特別全国障害者スポーツ大会選考会

1 目 的

大会への出場を通じて卓球競技における技術力の向上を図り、体力の維持増進と協調精神を養い、明るい生活の形成に寄与するとともに、県民・市民との交流により、障害者に対する深い理解と関心の高揚を期し、もって社会参加促進に資することを目的とする。

2 主 催

宮城県 / 仙台市

一般社団法人宮城県障害者スポーツ協会 / 一般社団法人仙台市障害者スポーツ協会

3 共 催

社会福祉法人宮城県障がい者福祉協会 / 社会福祉法人仙台市障害者福祉協会 / 宮城県知的障害者福祉協会

一般社団法人宮城県手をつなぐ育成会 / 仙台市知的障害者関係団体連絡協議会

みやぎ精神障害者スポーツ推進協議会 / NPO 法人仙台市精神保健福祉団体連絡協議会

4 主 管

宮城県卓球協会 / 宮城県障害者卓球協会

5 協 力 (予定)

公益社団法人宮城県医師会 / 一般社団法人仙台市医師会 / 公益社団法人宮城県柔道整復師会

東北福祉大学 / 宮城県障害者スポーツ指導者協議会 / 仙台市障害者スポーツ指導者協議会

6 大会期日・会場

競 技 名	日 時	会 場
卓 球	2023年5月28日(日) 午前9時～午後4時 (受付:午前8時30分～9時)	仙台市宮城野体育館 仙台市宮城野区新田東4-1-1 TEL:022-231-1221
サウンドテーブルテニス	2023年5月21日(日) 午前10時～午後5時 (受付:午前9時00分～9時30分)	

7 競技規則

「全国障害者スポーツ大会 卓球競技規則」の他、本大会要項及び申し合わせ事項による。

8 競技種目

男子シングルス, 女子シングルス

9 出場資格

1) 宮城県内に現住所を有する2023年4月1日現在満12歳以上の者で、身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けた者。もしくはその取得の対象に準ずる障害のある者、及び大会主催者が認めた者。ただし、申込時に施設や学校等に入所及び通所並びに通学する者は、その所在地から参加できるものとする。

2) 大会出場に際して、特に健康上問題のない者。

3) 他の選考会(陸上・水泳・フライングディスク・アーチェリー・ボウリング・ボッチャ・団体競技北海道・東北ブロック予選)にエントリーした者は、本大会へ出場できない。

10 表彰

各組の1位から3位までに入賞したものにメダルを授与する。ただし、当日出場する選手が3名以内のときは、1位の者にのみメダルを授与する。

11 申し込み方法

出場希望者は、出場申込票に種目・区分（別記障害区分表を参照のこと）等の必要事項を記入の上、下記申込先へ、2023年3月24日（金）までに申し込むこと。（厳守）※郵送の場合、当日消印有効

なお、申し込み締切り以降の出場受付は一切行わないので注意すること。

< 申込先 >

【 仙台市内在住、通所・入所、通学の方 】

（一社）仙台市障害者スポーツ協会

〒983-0039 仙台市宮城野区新田東4-1-1

FAX：022-236-8691

【 仙台市以外に在住、通所・入所、通学の方 】

（一社）宮城県障害者スポーツ協会

〒983-0836 仙台市宮城野区幸町4-6-2

FAX：022-257-1062

12 組み合わせ・競技日程

競技の組み合わせは、主催者において行う。

13 ナンバーカード

ナンバーカードは、主催者が用意・配布する。

14 健康・安全管理

- 1) 出場選手の健康・安全管理については、事前に医師の診断を受けるなど各自において十分留意すること。
- 2) 主催者においては、大会時の傷害保険の加入と応急処置を行う以外については、一切責任を負わない。なお、競技中の負傷に対する補償は、大会において加入する保険の適用範囲内とする。普段の練習の事も含めて考えて不足と思われる際は、各自において別途加入すること。

15 個人情報の取り扱い

取得した個人情報は、参加受付・プログラム作成等の本大会の運営、成績の報道発表・公式ホームページ等への掲載、大会主催者からの資料送付・情報提供に使用する。また、大会出場中における映像・写真・記事・記録等への掲載権は主催者に属する。

16 その他

- 1) 練習に使用する用具（ラケット・ボール・ウォーミングアップで使用する用具等）については各自で用意すること。
- 2) 事前に自宅等で体温を測るなど、健康管理に努めること。
- 3) 体調がすぐれない者の会場への入場はできない。
- 4) 競技中以外はマスクを着用すること。なお、マスクは必ず持参すること。
- 5) こまめな手洗い、アルコール等による手指の消毒を行うこと。
- 6) 競技中以外は、対人距離をしっかりと確保し、大きな声での応援は控えること。
- 7) 介助者については、最小限の人数で実施すること。
- 8) 選手控所、観覧席等の利用は必要最小限とし、競技終了後は速やかに退出すること。なお、着席する場合は間隔を空けて着席すること。
- 9) 荒天や不測の事態により、競技内容を変更する場合がある。

1.7 全国障害者スポーツ大会派遣選手の選考及び派遣について

1) 本大会に出場した選手の記録は、下記全国大会の宮城県および仙台市代表選手団の派遣候補選手選考の参考記録となり、別途開催される選考委員会において、全国大会主催者（鹿児島県）により指定された出場競技・選手数に基づき、障害、性別、年齢、出場経験等を考慮して最終決定される。ただし、全国障害者スポーツ大会開催基準要綱により、2023年4月1日現在、満13歳以上の選手が選考対象となる。

< 特別全国障害者スポーツ大会 選手団派遣日程 >

2023年10月26日～31日（本大会 10月28日～30日） 於：鹿児島県

2) 全国大会への派遣は、仙台市内に居住する者は仙台市から、仙台市以外の市町村に居住する者は、宮城県から派遣される。ただし、申込時に施設や学校等に入所及び通所並びに通学する者は、その所在地から参加できるものとする。

※ 選手選考・派遣に関する問合せ先

○宮城県選手団 身体・精神障害の部：宮城県障害者社会参加推進センター
知的障害の部：一般社団法人宮城県障害者スポーツ協会

○仙台市選手団 身体・精神障害の部：一般社団法人仙台市障害者スポーツ協会
知的障害の部：仙台市知的障害者関係団体連絡協議会

【 第25回 宮城県・仙台市障害者卓球大会 障害区分表 】

◎：年齢区分別，男女別 / ●：男女別

			区分番号	障害区分	卓球	STT
肢体不自由	1	上肢障害	1	片上肢障害	◎	
			2	両上肢障害	◎	
		下肢障害	3	片下腿切断または，片下肢不完全	◎	
			4	片大腿切断または，両下腿切断 片下肢完全または，両下肢不完全	◎	
			5	片下腿および片大腿切断 両大腿切断または，両下肢完全	◎	
		体幹	6	体幹	◎	
	2	脳原性麻痺以外で 車いす常用，使用	7	第8頸髄まで残存 ※1	◎	
			8	座位バランスなし	◎	
			9	その他車いす	◎	
	3	脳原性麻痺 (脳性麻痺，脳血管疾患， 脳外傷等)	10	車いす使用	◎	
			11	杖または，松葉杖使用	◎	
			12	上肢に不随意運動あり	◎	
			13	上肢に不随意運動なし	◎	
			14	片側障害	◎	
視覚障害 ※2			15	アイマスクまたは，アイシェードあり※3		◎
			16	アイマスクまたは，アイシェードなし	◎	
聴覚・平衡機能障害，音声・言語・そしゃく機能障害			17	聴覚障害	◎	
知的障害			18	知的障害	◎	
精神障害			19	精神障害	●	

※1 「第8頸髄残存」には、「第6頸髄まで残存」および「第7頸髄まで残存」は出場できるものとする。

※2 視力・視野の程度に関わらず，アイマスクまたは，アイシェードの有無で出場競技を分ける。

※3 障害区分15は，各自で用意した光を通さないアイマスクまたはアイシェードを装着する。

第31回宮城県・仙台市障害者スポーツ大会 フライングディスク大会

兼 特別全国障害者スポーツ大会選考会

実施要項

1 目的

スポーツを通じて体力の維持・増進を図り、明朗快活かつ積極的な性格と協調精神を養い、明るい生活の形成に寄与するとともに、県民・市民との交流により、障害者に対する深い理解と関心の高揚を期し、もって障害者の社会参加促進に資することを目的とする。

2 主催

宮城県／仙台市／一般社団法人宮城県障害者スポーツ協会／一般社団法人仙台市障害者スポーツ協会

3 共催

社会福祉法人宮城県障がい者福祉協会／社会福祉法人仙台市障害者福祉協会／宮城県知的障害者福祉協会

一般社団法人宮城県手をつなぐ育成会／仙台市知的障害者関係団体連絡協議会

みやぎ精神障害者スポーツ推進協議会／NPO 法人仙台市精神保健福祉団体連絡協議会

4 主管

みやぎ障害者フライングディスク協会

5 協力(予定)

公益社団法人宮城県柔道整復師会／東北福祉大学／仙台大学／東北工業大学／仙台白百合女子大学

仙台保健福祉専門学校／宮城県障害者スポーツ指導者協議会／仙台市障害者スポーツ指導者協議会

6 大会期日

2023年5月28日(日) 8:30～受付

7 競技会場

シェルコムせんだい 仙台市泉区野村字新桂島前48 TEL: 022-218-5656

8 出場資格

1) 宮城県内に現住所を有する2023年4月1日現在、満12歳以上の者で、身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けた者。もしくは、その取得の対象に準ずる障害のある者及び大会主催者が認められた者。ただし、申込時に施設や学校等に入所及び通所並びに通学する者は、その所在地から参加できるものとする。

2) 大会出場に際して、特に健康上問題のない者。

3) 他の選考会(陸上・水泳・卓球・アーチェリー・ボウリング・ボッチャ・団体競技北海道・東北ブロック予選)にエントリーしたものは、本大会へ出場できない。

9 競技種目

競技は「アキュラシー競技」のディスリート・ファイブ、ディスリート・セブンと「ディスタンス競技」とする。

10 競技規則

「全国障害者スポーツ大会フライングディスク競技規則」の他、本大会要項及び申し合わせ事項による。

11 競技方法

1) アキュラシーは、全障害・男女同一区分で実施する。

2) ディスタンスは、全障害を座位・立位に分け、男女別に実施する。

12 表彰

各組ごとに1位から3位までに入賞したものにメダルを授与する。

1.3 出場制限

- 1) 「アキュラシー」と「ディスタンス」の2種目に申し込むことができる。
- 2) 「アキュラシー」は、「ディスリート5・ディスリート7」のどちらかを選択して申し込むこと。両方にチェックがされていた場合、「ディスリート5」のみの出場とする。
- 3) アキュラシーは、5m以上投げられない者は、申し込むことができない。

1.4 申込方法

出場申込票に種目・区分等の必要事項を記入の上、下記申込先に2023年3月24日（金）までに郵送又はFAXにて申し込むこと。（厳守）※郵送の場合、当日消印有効

なお、申込締切後のエントリー及び種目の変更は、一切受け付けないので注意すること。

【申し込み先】

【 仙台市内在住、通所・入所、通学の方 】

(一社) 仙台市障害者スポーツ協会

〒983-0039 仙台市宮城野区新田東4-1-1

FAX: 022-236-8691

【 仙台市以外に在住、通所・入所、通学の方 】

(一社) 宮城県障害者スポーツ協会

〒983-0836 仙台市宮城野区幸町4-6-2

FAX: 022-257-1062

1.5 組み合わせ・競技日程

競技の組み合わせは、主催者において行う。競技日程は、エントリー確認の資料の送付時に提示する。

1.6 ナンバーカード

ナンバーカードは、主催者が用意・配布する。

1.7 健康・安全管理

- 1) 出場選手の健康・安全管理については、事前に医師の診断を受けるなど、各自において十分配慮すること。
- 2) 主催者においては、大会時の傷害保険の加入と応急処置を行う以外については、一切責任を負わない。なお、競技中の負傷に対する補償は、大会において加入する保険の適用範囲内とする。普段の練習の事も含めて考えて不足と思われる際は、各自において別途加入すること。

1.8 個人情報の取り扱い

参加申込書に記載の個人情報は、参加受付・プログラム作成等の本大会の運営、成績の報道発表・公式ホームページ等への掲載、大会主催者からの資料送付・情報提供に使用する。また、大会出場中における映像・写真・記事・記録等への掲載権は主催者に属する。

1.9 その他

- 1) 大会当日の昼食等は、各自で用意すること。
- 2) 練習に使用する用具（ディスク等 ウォーミングアップで使用する用具等）については各自で用意すること。
- 3) 事前に自宅等で体温を測るなど、健康管理に努めること。
- 4) 体調がすぐれない者の会場への入場はできない。
- 5) 競技中以外はマスクを着用すること。なお、マスクは必ず持参すること。
- 6) こまめな手洗い、アルコール等による手指の消毒を行うこと。
- 7) 競技中以外は、対人距離をしっかりと確保し、大きな声での応援は控えること。
- 8) 介助者については、最小限の人数で実施すること。
- 9) 選手控所、観覧席等の利用は必要最小限とし、競技終了後は速やかに退出すること。なお、着席する場合は間隔を空けて着席すること。
- 10) 荒天や不測の事態により、競技内容を変更する場合がある。

20 全国障害者スポーツ大会派遣選手の選考及び派遣について

1) 本大会に出場した選手の記録（精神障害の部を除く）は、下記全国大会の宮城県および仙台市代表選手団の派遣候補選手選考の参考記録となり、別途開催される選考委員会において、全国大会主催者（鹿児島県）により指定された出場競技・選手数に基づき、障害、性別、年齢、出場経験等を考慮して最終決定される。ただし、全国障害者スポーツ大会開催基準要綱により、2023年4月1日現在、満13歳以上の選手が選考対象となる。

< 特別全国障害者スポーツ大会 選手団派遣日程 >

2023年10月26日～31日（本大会 10月28日～30日） 於：鹿児島県

2) 全国大会への派遣は、仙台市内に居住する者は仙台市から、仙台市以外の市町村に居住する者は、宮城県から派遣される。ただし、申込時に施設や学校等に入所及び通所並びに通学する者は、その所在地から参加できるものとする。

※ 選手選考・派遣に関する問合せ先

- 宮城県選手団 身体障害の部：宮城県障害者社会参加推進センター
知的障害の部：一般社団法人宮城県障害者スポーツ協会
- 仙台市選手団 身体障害の部：一般社団法人仙台市障害者スポーツ協会
知的障害の部：仙台市知的障害者関係団体連絡協議会

【 第31回宮城県・仙台市障害者スポーツ大会 フライングディスク大会 障害区分表 】

◇：区分無し ◆：男女別

	アキュラシー		ディスタンス	
	ディスリート5	ディスリート7	座位	立位
肢体不自由				
視覚障害				
聴覚障害				
知的障害	◇	◇	◆	◆
内部障害（ぼうこう又は直腸機能障害）				
精神障害				

第31回宮城県・仙台市障害者スポーツ大会 アーチェリー大会

兼 特別全国障害者スポーツ大会選考会

実施要項

1 目的

スポーツを通じて体力の維持・増進を図り、明朗快活かつ積極的な性格と協調精神を養い、明るい生活の形成に寄与するとともに、県民・市民との交流により、障害者に対する深い理解と関心の高揚を期し、もって障害者の社会参加促進に資することを目的とする。

2 主催

宮城県 / 仙台市 / 一般社団法人宮城県障害者スポーツ協会 / 一般社団法人仙台市障害者スポーツ協会

3 共催

社会福祉法人宮城県障がい者福祉協会 / 社会福祉法人仙台市障害者福祉協会

4 主管

宮城県アーチェリー協会 / 杜の都アーチェリークラブ

5 協力(予定)

宮城県障害者スポーツ指導者協議会 / 仙台市障害者スポーツ指導者協議会

6 大会期日

2023年5月21日(日)

受付 9:00～9:30

弓具検査 9:00～9:30

競技 9:45～13:00

※ 開会式, 閉会式, 表彰式を実施予定。

7 競技会場

仙台市新田東総合運動場アーチェリー場 仙台市宮城野区新田東4-1-1

8 出場資格

- 1) 2023年4月1日現在, 満12歳以上の者で, 身体障害者手帳所持者及び主催者が認めた者。
- 2) 大会出場に際して, 特に健康上問題のない者。
- 3) 他の選考会(陸上・水泳・卓球・フライングディスク・ボッチャ・団体競技北海道・東北ブロック予選)にエントリーしたものは, 本大会へ出場できない。

9 競技種目

- 1) 競技種目は, 男女とも次のとおりとする。
 - ① 50・30mラウンド
 - ② 30mダブルラウンド
- 2) 種別は, アーチェリー競技障害区分表(別表)による。
- 3) 部門は, リカーブ部門とコンパウンド部門とする。

10 競技規則

「全国障害者スポーツ大会アーチェリー競技規則」の他, 本大会要項及び申し合わせ事項による。

11 出場制限

アーチェリー経験者で, 弓具を個人で準備できる者。(弓具の貸出しは行わない。)

1.2 申込方法

出場希望者は出場申込票に必要事項を記入の上、下記の申し込み先に2023年3月24日（金）までに申し込むこと。（厳守）※郵送の場合、当日消印有効

尚、申込み締切り後のエントリー及び種目変更は、受け付けないので注意すること。

【申し込み先・問合せ先】

【 仙台市内在住、通所・入所、通学の方 】

（一社）仙台市障害者スポーツ協会

〒983-0039 仙台市宮城野区新田東4-1-1

FAX：022-236-8691

【 仙台市以外に在住、通所・入所、通学の方 】

（一社）宮城県障害者スポーツ協会

〒983-0836 仙台市宮城野区幸町4-6-2

FAX：022-257-1062

1.3 組み合わせ・競技日程

競技の組み合わせは、主催者において行う。

1.4 ナンバーカード

ナンバーカードは、主催者が用意・配布する。

1.5 荒天時の取り扱い

原則として、雨天決行とする。ただし、やむなく中止とする場合は、競技会当日の午前6時00分までに、一般社団法人宮城県障害者スポーツ協会のホームページにて通知する。

1.6 健康・安全管理

- 1) 出場選手の健康・安全管理については、事前に医師の診断を受けるなど、各自において十分配慮すること。
- 2) 主催者においては、大会時の傷害保険の加入と応急処置を行う以外については、一切責任を負わない。なお、競技中の負傷に対する補償は、大会において加入する保険の適用範囲内とする。普段の練習の事も含めて考えて不足と思われる際は、各自において別途加入すること。

1.7 個人情報の取り扱い

参加申込書に記載の個人情報は、参加受付・プログラム作成等の本大会の運営、成績の報道発表・公式ホームページ等への掲載、大会主催者からの資料送付・情報提供に使用する。また、大会出場中における映像・写真・記事・記録等への掲載権は主催者に属する。

1.8 その他

- 1) 大会当日の昼食等は、各自で用意すること。
- 2) 事前に自宅等で体温を測るなど、健康管理に努めること。
- 3) 体調がすぐれない者の会場への入場はできない。
- 4) 競技中以外はマスクを着用すること。なお、マスクは必ず持参すること。
- 5) こまめな手洗い、アルコール等による手指の消毒を行うこと。
- 6) 競技中以外は、対人距離をしっかりと確保し、大きな声での応援は控えること。
- 7) 介助者については、最小限の人数で実施すること。
- 8) 選手控所、観覧席等の利用は必要最小限とし、競技終了後は速やかに退出すること。なお、着席する場合は間隔を空けて着席すること。
- 9) 荒天や不測の事態により、競技内容を変更する場合がある。

1.9 全国障害者スポーツ大会派遣選手の選考及び派遣について

- 1) 本大会に出場した選手の記録は、下記全国大会の仙台市代表選手団の派遣候補選手選考の参考記録となり、

別途開催される選考委員会において、全国大会主催者（鹿児島県）により指定された出場競技・選手数に基づき、障害、性別、年齢、出場経験等を考慮して最終決定される。ただし、全国障害者スポーツ大会開催基準要綱により、2023年4月1日現在、満13歳以上の選手が選考対象となる。

< 特別全国障害者スポーツ大会 選手団派遣日程 >

2023年10月26日～31日（本大会 10月28日～30日） 於：鹿児島県

2) 全国大会への派遣は、仙台市内に居住する者は仙台市から、仙台市以外の市町村に居住する者は、宮城県から派遣される。ただし、申込時に施設や学校等に入所及び通所並びに通学する者は、その所在地から参加できるものとする。

※ 選手選考・派遣に関する問合せ先

- 宮城県選手団 宮城県障害者社会参加推進センター
- 仙台市選手団 一般社団法人仙台市障害者スポーツ協会

【 第31回宮城県・仙台市障害者スポーツ大会 アーチェリー競技大会 障害区分表 】

●：男女別

		区分番号	障害区分	リカーブ		コンパウンド	
				50m・30m	30m・30m	50m・30m	30m・30m
肢体不自由	脳原性麻痺以外で車いす常用	1	第8頸髄まで残存	●	●	●	●
		2	その他	●	●		
	切断・機能障害	3	上肢障害	●	●		
		4	下肢障害 (椅子, 車いす使用を含む)	●	●		
		5	体幹	●	●	●	●
	脳原性麻痺 (脳性痲痺, 脳血管疾患, 脳外傷等)	6	脳原性麻痺 (椅子, 車いす使用を含む)	●	●		
聴覚・平衡機能障害, 音声・言語・そしゃく機能障害	7	聴覚障害	●	●			
内部障害	8	ぼうこう又は 直腸機能障害	●	●			

※ 「第8頸髄まで残存」には、「第6頸髄まで残存」および「第7頸髄まで残存」は出場できるものとする。

宮城県知的障がい者ボウリング大会 実施要項

兼 特別全国障害者スポーツ大会選考会

【目的】

ボウリング競技を通じて体力の維持増進と協調精神を養い、明るい生活の形成に寄与するとともに、県民・市民との交流により、障がい者に対する深い理解と関心の高揚を期し、もって社会参加促進に資することを目的とする。

【主催】

宮城県 / 一般社団法人宮城県障害者スポーツ協会

【共催】

宮城県知的障害者福祉協会 / 一般社団法人宮城県手をつなぐ育成会 / 宮城県ボウリング連盟

【協力】(予定)

東北福祉大学 / 宮城県障害者スポーツ指導者協議会

【大会期日】

2023年4月22日(日) 9:15 ~ 12:00

【会場】

コロナキャットボウル仙台 仙台市宮城野区福室字田中前1-53-1 / TEL: 022-387-5519

【出場資格】

仙台市を除く県内に現住所を有する**2023年4月1日現在満12歳以上の者**で、療育手帳の交付を受けた者。もしくはその取得の対象に準ずる障がいのある者及び大会主催者が認めた者。ただし、申込時に施設や学校等に入所及び通所並びに通学する者は、その所在地から出場できるものとする。

なお、この大会にエントリーした者は、他の競技選考会(水泳・卓球・陸上競技・フライングディスク・団体競技北海道・東北ブロック予選会)に出場することができない。

【競技規則】

「全国障害者スポーツ大会ボウリング競技規則」に準じるが、競技は下記【競技】の項の通りとする。

【競技】

- 1) 競技は個人戦とし、2ゲームの合計点で順位を決定する。
- 2) 競技方法は、ヨーロッパ方式(レーンチェンジをしない)とする。
- 3) ハンディキャップは採用しない。
- 4) 自動式ファウル判定器は使用しない。

【ナンバーカード】

ナンバーカードは、主催者が用意・配布する。

【表彰】

男女別、年齢区分ごとに1位から3位までを表彰する。

【出場申込】

- 1) 申込方法: 別紙出場申込票に必要事項を記入の上、持参、郵送又は、FAXにて期間内に下記まで申し込むこと。また、申込書には自己記録(アベレージ)を記入すること。
- 2) 申込〆切: **2023年3月24日(金)【必着】**

3) 申 込 先 : 宮城県知的障がい者ボウリング大会事務局

〒983-0836 仙台市宮城野区幸町4-6-2 (一社) 宮城県障害者スポーツ協会内

FAX : 022-257-1062

【 全国大会派遣選手の選考・派遣について 】

1) 本大会の記録は、全国大会の宮城県代表選手団の派遣候補選手選考の参考記録となり、候補選手は、別途開催される選考委員会において、全国大会主催者（鹿児島県）により指定された出場競技・選手数に基づき、好成績を残した者、選手団全体の障害別、性別、年齢、出場経験数等を考慮して最終決定される。ただし、全国障害者スポーツ大会開催基準要綱により、2023年4月1日現在、満13歳以上の選手が選考対象となる。

< 特別全国障害者スポーツ大会 選手団派遣日程 >

2023年10月26日～31日（本大会 10月28日～30日） 於：鹿児島県

2) 全国大会への派遣は、仙台市内に居住する者は仙台市から、仙台市以外の市町村に居住する者は、宮城県から派遣される。ただし、申込時に施設や学校等に入所及び通所並びに通学する者は、その所在地から参加できるものとする。

【 大会日程 】

選手受付 9:15～9:30

開会式 9:30～9:40

競技開始 9:45～

【 健康・安全管理 】

参加者は事前に医師等の診断を受けるなど、健康と安全について十分留意すること。主催者側においては、大会時の傷害保険の加入と応急処置を行う以外については一切責任を負わないものとする。なお、競技中の負傷に対する保証は、大会において加入する保険の適用範囲内とする。

【 個人情報の取り扱い 】

取得した個人情報は、参加受付・プログラム作成等の本大会の運営、成績の報道発表・公式ホームページ等への掲載、大会主催者からの資料送付・情報提供に使用する。また、大会出場中における映像・写真・記事・記録等への掲載権は主催者に属する。

【 その他 】

- 1) 事前に自宅等で体温を測るなど、健康管理に努めること。
- 2) 体調がすぐれない者の会場への入場はできない。
- 3) 競技中以外はマスクを着用すること。なお、マスクは必ず持参すること。
- 4) こまめな手洗い、アルコール等による手指の消毒を行うこと。
- 5) 競技中以外は、対人距離をしっかりと確保し、大きな声での応援は控えること。
- 6) 介助者については、最小限の人数で実施すること。
- 7) 選手控所、観覧席等の利用は必要最小限とし、競技終了後は速やかに退出すること。なお、着席する場合は間隔を空けて着席すること。
- 8) 荒天や不測の事態により、競技内容を変更する場合がある。

仙台市知的障害者ボウリング大会

兼 特別全国障害者スポーツ大会選考会

実施要項

- 1 目的 この大会は、仙台市内の知的障害者が、ボウリングを通じて心身の健康維持・増進と、体力増強を図りながら、交流の輪を広げることを目的とする。
- 2 主催 仙台市 / 一般社団法人仙台市障害者スポーツ協会 / 仙台市知的障害者関係団体連絡協議会
- 3 開催日時 2023年5月13日(土)
受付 9:00～9:20 / 開会式 9:20～9:30
競技 9:30～11:10 / 閉会式 11:30～11:50
- 4 会場 タイトーステーション ボウルグリーブーズ仙台
仙台市太白区西多賀5-24-1 ベガロポリス内 TEL:022-307-3685
- 5 出場資格 仙台市内に現住所を有する者、又は仙台市内の学校に通学している者や、施設に入所・通所している者で、療育手帳の交付を受けた**2023年4月1日現在、満12歳以上の者**。もしくは、その取得の対象に準ずる障害のある者、及び主催者が認めた者。
なお、この大会に出場した者は、他の競技大会(陸上競技、水泳、卓球、フライングディスク・団体競技北海道・東北ブロック予選会)には出場できない。
- 6 募集定員 競技の部 約110名 (応募者多数の場合は、応募順で締め切ります。)
- 7 競技規則 「全国障害者スポーツ大会ボウリング競技規則」のほか、本大会要項及び申し合わせ事項による。
- 8 競技方法 個人別にシングルレーン方式で2ゲーム行う。
- 9 表彰 各年齢区分、性別ごとに、上位3位までにメダルを授与する。
出場者全員に参加賞を贈呈する。
- 10 出場申込 1) 申込方法:別紙出場申込票に必要事項を記入のうえ、持参、郵送又は、FAXにて期間内に下記運営事務局まで申し込むこと。
2) 申込締切:**2023年3月24日(金) 必着**
3) レンタルシューズ希望の場合は、別紙出場申込票にサイズを記入すること。
(ゲーム代及びレンタルシューズ代は無料)
- 11 運営事務局 出場申込及び大会に関する問い合わせは、下記へ行うこと。

仙台市知的障害者関係団体連絡協議会スポーツ大会事務局

〒989-3213 仙台市青葉区大倉字大原新田16-51 おおぞら学園内

TEL:022-393-2334/FAX:022-393-2335

12 健康・安全管理

- 1) 出場選手の健康・安全管理については、事前に医師の診断を受けるなど、各自において十分配慮すること。
- 2) 主催者においては、大会時の傷害保険の加入と応急処置を行う以外については、一切責任を負わない。なお、競技中の負傷に対する補償は、大会において加入する保険の適用範囲内とする。普段の練習の事も含めて考えて不足と思われる際は、各自において別途加入すること。

13 個人情報の取り扱い

参加申込書に記載の個人情報は、参加受付・プログラム作成等の本大会の運営、成績の報道発表・公式ホームページ等への掲載、大会主催者からの資料送付・情報提供に使用する。また、大会出場中における映像・写真・記事・記録等への掲載権は主催者に属する。

14 全国大会派遣選手の選考及び派遣について

- 1) 本大会の記録は、仙台市代表選手団の代表選手選考の参考記録となり、予選会に出場し好成績を残した者が候補となる。代表選手は、6月に開催される選考委員会において、全国大会主催者（鹿児島県）により指定された出場競技・選手数に基づき、候補選手の中より、選手団全体の障害別、性別、年齢、出場経験数等を考慮して選考される。ただし、全国障害者スポーツ大会開催基準要綱により、2023年4月1日現在、満13歳以上の選手が選考対象となる。

< 特別全国障害者スポーツ大会 選手団派遣日程 >

2023年10月26日～31日（本大会 10月28日～30日） 於：鹿児島県

- 2) 代表選手は、仙台市が派遣し、その経費を予算の範囲内で負担する。

- 3) 問い合わせ先 仙台市知的障害者関係団体連絡協議会

〒989-3213 仙台市青葉区大倉字大原新田16-51 おおぞら学園内

TEL : 022-393-2334 / FAX : 022-393-2335

15 その他

- 1) 事前に自宅等で体温を測るなど、健康管理に努めること。
- 2) 体調がすぐれない者の会場への入場はできない。
- 3) 競技中以外はマスクを着用すること。なお、マスクは必ず持参すること。
- 4) こまめな手洗い、アルコール等による手指の消毒を行うこと。
- 5) 競技中以外は、対人距離をしっかりと確保し、大きな声での応援は控えること。
- 6) 介助者については、最小限の人数で実施すること。
- 7) 選手控所、観覧席等の利用は必要最小限とし、競技終了後は速やかに退出すること。なお、着席する場合は間隔を空けて着席すること。
- 8) 荒天や不測の事態により、競技内容を変更する場合がある。

第27回宮城県・仙台市知的障がい者水泳大会 実施要項

兼 特別全国障害者スポーツ大会選手選考会

- 1 目的 水泳競技を通じて体力の維持、増進を図り、明朗快活かつ積極的な性格と協調精神を養い、明るい生活の形成に寄与するとともに、県民・市民との交流により、障害者に対する深い理解と関心の高揚を期し、もって障害者の社会参加促進に資する事を目的とする。
- 2 主催 宮城県 / 仙台市
一般社団法人宮城県障害者スポーツ協会 / 一般社団法人仙台市障害者スポーツ協会
- 3 共催 社会福祉法人宮城県障がい者福祉協会 / 社会福祉法人仙台市障害者福祉協会
宮城県知的障害者福祉協会 / 一般社団法人宮城県手をつなぐ育成会
仙台市知的障害者関係団体連絡協議会
- 4 主管 一般社団法人宮城県水泳連盟 / 仙台市水泳協会
- 5 協力 東北福祉大学 / 東北学院大学 / 仙台大学 / 東北大学
一般社団法人宮城県水泳連盟学生委員会 / 宮城県障害者スポーツ指導者協議会
仙台市障害者スポーツ指導者協議会
- 6 開催期日 2023年6月4日(日) 10:00~14:00
- 7 競技会場 セントラルスポーツ宮城G21プール・サブプール (短水路4レーン 水深1.45m)
〒981-0122 利府町菅谷字館40-1 TEL:022-356-0450
- 8 競技規則 当該年度の「全国障害者スポーツ大会競技規則」の他、本大会要綱、競技実施要領、申し合わせ事項による。
- 9 競技方法 競技はすべてタイムレースとする。
- 10 競技種目
 - 自由形 25m 50m
 - 背泳ぎ 25m 50m
 - 平泳ぎ 25m 50m
 - バタフライ 25m 50m※ リレー種目は実施しない。
- 11 競技順序 別表のとおり
- 12 表彰 各種目の年齢区分ごとに1位から3位までに入賞した選手にメダルを授与する。
表彰式は行わない。メダル、記録証は、後日郵送にて届ける。
- 13 大会参加資格
 - 1) 宮城県内に現住所を有する**2023年4月1日現在、満12歳以上の者で、療育手帳の交付を受けた者、もしくはその取得の対象に準ずる障害のある者、及び大会主催者が認めた者。**
 - 2) 大会出場に際して、特に健康上問題のない者
 - 3) 他の選考会(陸上競技・フライングディスク・卓球・ボウリング・団体競技北海道・東北ブロック予選)にエントリーした者はこの大会へ出場できない。
- 14 出場申込 出場希望者は、第10項の競技種目から**2種目まで**選択し、出場申込票に記入のうえ、下記申込先に**2023年4月21日(金) 必着にて**郵送又はFAXにて申し込むこと。なお、上記申し込み締切り日以降の参加受付、競技種目変更の受付は一切行わないので注意すること。

【 申込先 】 一般社団法人宮城県障害者スポーツ協会
〒983-0836 仙台市宮城野区幸町 4 - 6 - 2
FAX : 022-257-1062 / e-mail : kensupo1988@poplar.ocn.ne.jp

1.5 全国障害者スポーツ大会派遣選手の選考及び派遣について

1) 本大会の記録は、全国大会の宮城県および仙台市代表選手団の派遣候補選手選考の参考記録となり、候補選手は、別途開催される選考委員会において、全国大会主催者（鹿児島県）により指定された出場競技・選手数に基づき、選手団全体の障害別、性別、年齢、出場経験数等を考慮して最終決定される。ただし、全国障害者スポーツ大会開催基準要綱により、2023年4月1日現在、満13歳以上の選手が選考対象となる。

< 特別全国障害者スポーツ大会 選手団派遣日程 >

2023年10月26日～31日（本大会 10月28日～30日） 於：鹿児島県

2) 全国大会への派遣は、仙台市内に居住する者は仙台市から、仙台市以外の市町村に居住する者は、宮城県から派遣される。ただし、申込時に施設や学校等に入所及び通所並びに通学する者は、その所在地から参加できるものとする。

※ 選手選考・派遣に関する問合せ先

- 宮城県選手団 一般社団法人宮城県障害者スポーツ協会
- 仙台市選手団 仙台市知的障害者関係団体連絡協議会

1.6 大会日程

- 開場 8:00
- 受付 8:00～9:20
- 練習開放 8:30～
- 競技役員打合 8:30
- 代表者会議 9:00
- 開会式 9:45
- 競技時間 10:00～14:00

※ 閉会式は実施しない。

1.7 健康・安全管理

参加者の体調管理については介助者及び本人の責任とし、事前に医師の診断を受けるなど、健康と安全について十分留意すること。主催者側においては、大会時の傷害保険の加入と応急処置を行う以外については一切責任を負わないものとする。なお、競技中の負傷に対する保証は、大会において加入する保険の適用範囲内とする。

1.8 個人情報の取り扱い

取得した個人情報は、参加受付・プログラム作成等の本大会の運営、成績の報道発表・公式ホームページ等への掲載、大会主催者からの資料送付・情報提供に使用する。また、大会出場中における映像・写真・記事・記録等への掲載権は主催者に属する。

1.9 その他

- 1) 貴重品は、チーム又は個人で責任を持って管理すること。主催者では紛失等の責任は負わない。
- 2) 本大会は、IDカードを使用した入場制限を実施する。会場内には、IDカードを発行された者のみしか入場できないものとする。
- 3) 事前に自宅等で体温を測るなど、健康管理に努めること。体調がすぐれない者の会場への入場はできない。

- 4) こまめな手洗い, アルコール等による手指の消毒を行うこと。
- 5) 介添者については, 最小限の人数で実施すること。
- 6) 観覧席の利用は必要最小限とし, 競技終了後は速やかに退出すること。なお, 着席する場合は, 2席以上空けて着席すること。また, 声を出しての応援は控えること。
- 7) 今大会の「感染症防止策」については, 感染状況を見ながら5月中旬を目途に, 二次要項にて参加者へ通知するほか, 一般社団法人宮城県障害者スポーツ協会ホームページにも提示する。(提示後も感染状況により, 随時変更の可能性があるので留意すること。)
- 8) 大会開催前又は開催中に政府および宮城県, 開催地の市町村等から各種要請が発出された場合は, 主催及び関係者で協議の上, 大会日程の変更又は中止等を決定する。

< 競 技 順 序 >

1	女子	200m個人メドレー	16	男子	100m背泳ぎ
2	男子	200m個人メドレー	17	女子	25m自由形 (浮具付含む)
3	女子	150m個人メドレー	18	男子	25m自由形 (浮具付含む)
4	男子	150m個人メドレー	19	女子	100m平泳ぎ
5	女子	25mバタフライ	20	男子	100m平泳ぎ
6	男子	25mバタフライ	21	女子	100mバタフライ
7	女子	25m背泳ぎ	22	男子	100mバタフライ
8	男子	25m背泳ぎ	23	女子	50m背泳ぎ
9	女子	100m自由形	24	男子	50m背泳ぎ
10	男子	100m自由形	25	女子	200m自由形
11	女子	50m平泳ぎ	26	男子	200m自由形
12	男子	50m平泳ぎ	27	女子	25m平泳ぎ
13	女子	50mバタフライ	28	男子	25m平泳ぎ
14	男子	50mバタフライ	29	女子	50m自由形 (浮具付含む)
15	女子	100m背泳ぎ	30	男子	50m自由形 (浮具付含む)

※ 新型コロナウイルス感染症の拡大状況により, 運営内容を変更する場合がある。

第3回 宮城県障がい者ボッチャ大会 開催要綱

兼 特別全国障害者スポーツ大会選手選考会

1 目的

スポーツを通じて体力の維持・増進を図り、明朗快活かつ積極的な性格と協調精神を養い、明るい生活の形成に寄与するとともに、県民・市民との交流により、障害者に対する深い理解と関心の高揚を期し、もって障害者の社会参加促進に資することを目的とする。

2 主催

宮城県 / 一般社団法人宮城県障害者スポーツ協会

3 共催

社会福祉法人宮城県障がい者福祉協会 / 特定非営利活動法人美里町体育協会

4 後援

美里町 / 大河原町 / 公益財団法人宮城県スポーツ協会 / 美里町教育委員会 / 大河原町教育委員会

5 競技主管

宮城県障害者スポーツ指導者協議会ボッチャ部会

6 開催期日・会場

地区	日時	会場
北部大会	2023年4月23日(日) 午前10時～午後5時	美里町トレーニングセンター 遠田郡美里町北浦字下新田 97-1
南部大会	2023年4月30日(日) 午前10時～午後5時	大河原町総合体育館 柴田郡大河原町字小島 1-7

【参加対象市町村】※原則として、各大会へ出場できる地域は、以下のとおりとする。

- 北部大会 気仙沼・本吉地域(気仙沼市・南三陸町)
登米地域(登米市)
栗原地域(栗原市)
大崎地域(大崎市・加美町・色麻町・涌谷町・美里町)
石巻地域(石巻市・東松島市・女川町)
仙台地域(塩竈市・多賀城市・富谷市・利府町・松島町・七ヶ浜町・大郷町・大和町・大衡村)
- 南部大会 仙南地域(名取市・岩沼市・白石市・角田市・川崎町・村田町・大河原町・亘理町・山元町・丸森町・七ヶ宿町・蔵王町・柴田町)

7 出場資格

出場選手は、次の全ての条件を満たす者とする。

- 1) 2023年4月1日現在12歳以上の者で、申込時において仙台市を除く宮城県内の市町村に現住所を有する者。または、仙台市を除く宮城県内の施設や学校等へ入所、通所、通学する者。
- 2) 身体障害者福祉法(昭和24年法律第283号)第15条の規定により身体障害者手帳の交付を受けた者、又はその取得の対象に準ずる障害のある者で、「別表_1 障害区分表」の障害区分に該当する肢体不自由者
- 3) 本大会へエントリーした選手は、これ以降に開催される他の選考会への出場は認められない。

8 競技規則

2023年度に適用される全国障害者スポーツ大会競技規則（公益財団法人日本パラスポーツ協会制定）によるもののほか、本大会要項、競技要領、大会申し合わせ事項による。

9 競技方法

- 1) 競技は、競技スタイルごとのリーグ戦とし、試合は2エンドの個人戦とする。
- 2) プールは、男女の区別なく「立位」と「座位」の2区分とする。但し、申込み状況により変更する場合がある。
- 3) 試合は、2エンドの総得点で勝敗を決める。2エンド終了時、同点の場合は、タイブレイク（ファイナルショット制度）で勝敗を決める。
- 4) 試合球は、主催者が用意したボールを使用する。

10 ナンバーカード

ナンバーカードは、主催者が用意・配布する。

11 表彰

プールごと1位の者にメダルを授与する。

12 参加申し込み

出場申込票に必要事項を記入の上、**2023年3月24日（金）まで【必着】**、下記申込先まで、持参、郵送、またはFAXにて申し込むこと。なお、申込締切日以降の参加受付は一切行わない。

※出場申込書は協会ホームページ（<https://www.mpsa.jp/>）よりダウンロードできる。

【申込先】 一般社団法人宮城県障害者スポーツ協会
〒9783-0836 仙台市宮城野区幸町4-6-2
FAX：022-257-1062 / e-mail：kensupo1988@poplar.ocn.ne.jp

13 健康・安全管理

出場選手の健康・安全管理については、事前に医師の診断を受けるなど、各自において十分配慮すること。主催者側においては、大会時の傷害保険の加入と応急処置を行う以外については、一切責任を負わない。なお、競技中の負傷に対する保証は、大会において加入する保険の適用範囲内とする。不足の際は、各自において別途加入すること。

14 個人情報の取り扱い

- 1) 取得した個人情報は、参加受付・プログラム作成等の本大会の運営、成績の報道発表・公式ホームページへの掲載、大会主催者からの資料送付・情報提供に使用する。また、大会出場中における映像・写真・記事・記録等への掲載権は主催者に属する。
- 2) 主催者が発行する広報媒体において、選手その他の参加者の映像、写真、競技記録及び名前等を掲載することがある他、テレビ・新聞等の報道機関関係者及び、主催者が障がい者スポーツの振興に資するものと認めて撮影等を許可した団体関係者が来場し、選手その他の参加者の映像、写真、競技記録及び名前等が広報媒体に掲載されることがある。参加者はこのことをあらかじめ了承のうえで参加するものとする。

15 全国障害者スポーツ大会派遣選手の選考及び派遣について

- 1) 本大会の記録は、全国大会の宮城県代表選手団の派遣候補選手選考の参考記録となり、候補選手は、別途開催される選考委員会において、最終決定される。ただし、全国障害者スポーツ大会開催基準要綱により、20

23年4月1日現在、満13歳以上の選手が選考対象となる。

< 特別全国障害者スポーツ大会 選手団派遣日程 >

2023年10月26日～31日(本大会 10月28日～30日) 於：鹿児島県

2) 全国大会への派遣は、宮城県から派遣される。ただし、申込時に施設や学校等に入所及び通所並びに通学する者は、その所在地から参加できるものとする。

※ 選手選考・派遣に関する問合せ先 宮城県障害者社会参加推進センター

1.6 その他

- 1) 参加に係る費用は参加者負担とする。
- 2) 大会関係者(コーチ・アシスタント・選手等)は室内シューズを着用すること。但し、車いすはその限りではない。
- 3) 事前に自宅等で体温を測るなど、健康管理に努めること。体調がすぐれない者の会場への入場はできない。
- 4) 競技中以外はマスクを着用すること。マスクは必ず持参すること。
- 5) こまめな手洗い、アルコール等による手指の消毒を行うこと。
- 6) 介添者については、最小限の人数で実施すること。
- 7) 観覧席の利用は必要最小限とし、競技終了後は速やかに退出すること。なお、着席する場合は、2席以上空けて着席すること。また、声を出しての応援は控えること。
- 8) 不測の事態等による変更や中止の際は、宮城県障害者スポーツ協会ホームページへ掲載するほか、参加申し込みをされた団体・個人へも通知する。

【 注意事項：障害区分・競技アシスタントについて 】

● ボッチャ競技の障害区分は全て投球時の姿勢を基準とする。

(1) 車いす利用者・座位者

(ア) 四肢麻痺者・片麻痺者等、車いすまたは椅子座位で競技する選手

(イ) 投球はできるが、車いすの方向を変えたり、移動したりすることが機能的に困難な選手

(ウ) 投球することが困難で、ランプを使用して競技する選手。

(2) 立位者

立位で競技する者。競技においては、日常的車いすを使用しているものでも、投球時に立っているかどうかで判断される。

● 競技アシスタント

(1) 車いす使用者のうち、移動したり方向を変えたりすることが機能的に困難な者について、選手1名につき1名の競技アシスタントを認める。

(2) 競技アシスタントは移動すること、方向を変えることに対して補助するものであって、選手の意思を離れて競技に介入することは許されない。

● ランプオペレーター

(1) ランプを使用する選手に対し、ランプを操作しサポートする「ランプオペレーター」を選手1名につき1名を認める。

(2) ランプオペレーターは、選手の指示通りにランプを動かし選手をアシストするものであり、選手の意思を離れて競技に介入することは許されない。

(3) ランプオペレーターは、選手のスローイングボックス内に位置し、エンド中はプレイングエリアを見てはならない。

【別表_1 宮城県障がい者ボッチャ大会 障害区分表】

△：男女混合・年齢区分なし

		区分番号	障害区分・解説	競技スタイル		
				立位	座位	
肢体不自由	I	切断・機能障害	1	<ul style="list-style-type: none"> ・多肢切断 ・両下肢完全で立位 ・両上肢不完全および両下肢不完全 【解説】上肢・下肢の4肢のうち、3肢を切断し、義足等を使用して立位で競技する者。もしくは、脳原性麻痺以外で下肢の3大関節（股・膝・足関節）全てに機能障害があり、長下肢装具を使用して立位で競技する者。 ※「不完全」とは、上肢または下肢の3大関節（肩・肘・手関節または、股・膝・足関節）のうち、1または2関節に機能障害がある者。	△	
	II	脳原性麻痺以外で車いす常用、使用	2	<ul style="list-style-type: none"> ・第6頸髄まで残存 【解説】肩関節周辺の筋力は、ほぼ正常な四肢麻痺者（肘関節の屈曲と手関節の背屈は正常）		△
			3	<ul style="list-style-type: none"> ・第7頸髄まで残存 【解説】肩関節周囲と肘関節周囲の筋力がほぼ正常な四肢麻痺者（肩関節と肘関節、手関節の背屈と掌屈は正常だが、物が握れない）		△
			4	<ul style="list-style-type: none"> ・第8頸髄まで残存 【解説】肩関節首位と肘関節周囲と手関節周囲の筋力がほぼ正常で、指の曲げ伸ばしも可能な四肢麻痺者（把握能力はあるが、指を強く開いたり閉じたりできない）		△
			5	<ul style="list-style-type: none"> ・多肢切断 【解説】上肢・下肢の4肢のうち、3肢を切断し、車いすやいすに座った姿勢で競技する者		△
	III	脳原性麻痺（脳性麻痺、脳血管障害、脳外傷等）	6	<ul style="list-style-type: none"> ・四肢麻痺で車いす常用または、使用 【解説】脳原性麻痺により四肢に著しい可動域制限や協調性運動障害があるもので、両上下肢駆動による車いす使用者		△
			7	<ul style="list-style-type: none"> ・けって移動 【解説】脳原性麻痺による両上肢障害が重度のため、両下肢または片下肢で車いすを駆動させるもの		△
			8	<ul style="list-style-type: none"> ・片下肢で車いす常用、または使用 【解説】脳原性麻痺による片側傷害で、動かすことができる側の上肢と下肢で車いすを操作する者		△
			9	<ul style="list-style-type: none"> ・その他走不能 【解説】脳原性麻痺による下肢障害で、杖や下肢装具の使用の有無に関わらず、走ることができない者	△	
	IV		10	<ul style="list-style-type: none"> ・電動車いす常用 【解説】脳原性麻痺や脳原性麻痺以外の四肢麻痺者で、日常的に電動車いす（JIST9203）を使用している者		△

※ 座位とは、車いす及び椅子に座った競技スタイルをいう。

※ 座位で競技する選手（区分2～8および10）の選手で、移動したり、方向を変えたりすることが機能的に困難な者に「競技アシスタント」を、ランプ使用者には「ランプオペレーター」をそれぞれ選手1名につき1名を認める。

※ 立位で競技する選手については、安全上の配慮から、投球時以外はボックス内に椅子を準備し、座位にて待機してもよい。

第3回仙台市障害者ボッチャ大会

兼 特別全国障害者スポーツ大会選考会

実施要項

- 1 目的 スポーツを通じて体力の維持・増進を図り、明朗快活かつ積極的な性格と協調精神を養い、明るい生活の形成に寄与するとともに、市民との交流により、障害者に対する深い理解と関心の高揚を期し、もって障害者の社会参加促進に資することを目的とする。また特別全国障害者スポーツ大会に出場する仙台市の代表選手を選考することを目的とする。
- 2 主催 仙台市 / 一般社団法人仙台市障害者スポーツ協会
- 3 共催 社会福祉法人仙台市障害者福祉協会（予定）
- 4 主管 宮城ボッチャ協会（予定）
- 5 協力 仙台市障害者スポーツ指導者協議会（予定）
- 6 大会期日 令和5年5月20日（土） 9:00～17:00
- 7 競技会場 仙台市新田東総合運動場 宮城野体育館メインアリーナ 仙台市宮城野区新田東4-1-1
- 8 出場資格
 - (1) **令和5年4月1日現在、満12歳以上の者**で、仙台市内に現住所を有する者、もしくは、仙台市内の施設や学校等に入所及び通所並びに通学する者で、身体障害者手帳の交付を受けた者、又はその取得の対象に準ずる障害のある者で「別表2 障害区分表」の障害区分に該当する者。
 - (2) 大会出場に際して、特に健康上問題のない者。
 - (3) 特別全国障害者スポーツ大会の他の選考会（陸上競技・水泳・卓球・フライングディスク・アーチェリー・団体競技北海道・東北ブロック予選）にエントリーしたものは、本大会へ出場できない。
- 9 競技規則 「全国障害者スポーツ大会ボッチャ競技規則」のほか、本大会要項及び申し合わせ事項による。
- 10 競技方法
 - (1) 1対1の個人戦とし、1組3名～4名によるリーグ戦とする。※リーグ戦は、立位の部、座位の部で試合を行うが、参加状況により立位・座位混合で試合を行う場合もある。
 - (2) 試合は2エンドとする。同点の場合はタイブレイクにより勝敗を決定する。
- 11 ナンバーカード
ナンバーカードは、主催者が用意・配布する。
- 12 組み合わせ・競技日程（予定）
 - (1) 組み合わせは主催者において行う。
 - (2) 参加人数が多数の場合は午前の部、午後の部に分れて開催する場合がある。開始時刻などは参加人数等を考慮し、主催者において決定し、組み合わせとともに大会1週間前までに仙台市障害者スポーツ協会ホームページに掲載する。
- 13 競技用具 競技で使用する用具は、主催者にて用意するボールを使用する。ただし、自身で用意したボール（公認球のみ可）を使用することができる。投球の補助に使用する用具は、ランプのみ主催者より貸出を可とするが、その他については各自にて用意すること。
- 14 競技アシスタントについて
 - (1) 競技アシスタントは選手1名につき、任意で1名配置することができる。
 - (2) 競技アシスタントは、車いす使用者のうち、投球準備や車いすの移動・方向を変える等が機能的に困難な

者及びランプ使用者についてアシスタントを認める。

15 表彰 各組の1位から3位となったものにメダル等を授与する。ただし、出場選手が3名以下の場合は、1位の者にメダル等を授与する。

16 出場申込 指定の用紙に必要事項を記載のうえ、**令和5年3月24日(金)**必着で申込先まで(FAX、郵送にて)申込むものとする。

【申し込み先・問合せ先】 一般社団法人仙台市障害者スポーツ協会
〒983-0039 仙台市宮城野区新田東 4-1-1
FAX: 022-236-8691
ホームページアドレス: <https://www.sendai-dsa.jp>



17 健康・安全管理

- (1) 出場選手の健康・安全管理については、事前に医師の診断を受けるなど、各自において十分配慮すること。
- (2) 主催者においては、大会時の傷害保険の加入と応急処置を行う以外については、一切責任を負わない。なお、競技中の負傷に対する補償は、大会において加入する保険の適用範囲内とする。普段の練習の事も含めて考えて不足と思われる際は、各自において別途加入すること。

18 個人情報の取り扱い

参加申込書に記載の個人情報は、参加受付・プログラム作成等の本大会の運営、成績の報道発表・公式ホームページ等への掲載、大会主催者からの資料送付・情報提供に使用する。また、大会出場中における映像・写真・記事・記録等への掲載権は主催者に属する。

19 全国大会派遣選手の選考及び派遣について

- (1) 本大会は仙台市代表選手団の代表選手選考の参考記録となり、予選会に出場し好成績を残した者が候補となる。代表選手は、6月に開催される選考委員会において、全国大会主催者(鹿児島県)により指定された出場競技・選手数に基づき、候補選手の中より、選手団全体の障害別、性別、年齢、出場経験数等を考慮して選考される。ただし、全国障害者スポーツ大会開催基準要綱により、2023年4月1日現在、満13歳以上の選手が選考対象となり、出場は立位・座位(各1名)によるペアでの出場となる。

< 特別全国障害者スポーツ大会 選手団派遣日程 >

2023年10月26日～31日(本大会 10月28日～30日) 於: 鹿児島県

- (2) 代表選手は、仙台市が派遣し、その経費を予算の範囲内で負担する。
- (3) 代表選手は、全国大会への出場に向け、各選手団の8月～10月に実施する説明会(2回)・強化練習会(1回)・強化合宿(1泊2日)へ参加すること。

※選手選考・派遣に関する問合せ先 一般社団法人仙台市障害者スポーツ協会

20 その他

- (1) 参加に係る費用は参加者負担とする。
- (2) 大会関係者(コーチ・アシスタント・選手等)は室内シューズを着用すること。但し、車いすはその限りではない。
- (3) 事前に自宅等で体温を測るなど、健康管理に努めること。体調がすぐれない者の会場への入場はできない。
- (4) 競技中以外はマスクを着用すること。マスクは必ず持参すること。
- (5) こまめな手洗い、アルコール等による手指の消毒を行うこと。

- (6) 介添者については、最小限の人数で実施すること。
- (7) 観覧席の利用は必要最小限とし、競技終了後は速やかに退出すること。なお、着席する場合は、2席以上空けて着席すること。また、声を出しての応援は控えること。
- (8) 不測の事態等による変更や中止の際は、仙台市障害者スポーツ協会ホームページへ掲載するほか、参加申し込みをされた団体・個人へも通知する。

【仙台市障害者ポッチャ障害区分表】

			区分 番号	障害区分・解説	競技スタイル	
					立位	座位
肢体 不自由	I	切断・ 機能障害	1	多肢切断・両下肢完全・両上肢不完全及び両下肢不完全で立位 【解説】多肢切断とは、上肢・下肢の四肢のうち三肢体を切断し義足等を使用して立位で競技する者。両下肢完全とは、両下肢の3大関節（股、膝、足関節）全てに機能障害があり、長下肢装具なしでは体重を支えられない者が長下肢装具を使用して立位で競技する者。両上肢不完全及び両下肢不完全とは、上肢及び下肢の3大関節（肩・肘・手関節または、股・膝・足関節）のそれぞれに、1または2関節に機能障害がある者。	△	
	II	脳原性麻痺 以外で 車いす常 用、使用	2	第6頸髄まで残存 【解説】肩関節周辺の筋力はほぼ正常な四肢麻痺者 ※床から上方向に手首を甲側に反らすように曲げること(背屈)や肘を曲げることではできるが、曲げた肘を頭上方向に伸展できない。		△
			3	第7頸髄まで残存 【解説】肩関節周囲と肘関節周囲の筋力がほぼ正常な四肢麻痺者 ※ 肘や指を伸展することができるが、物を握ることができない。		△
			4	第8頸髄まで残存 【解説】肩関節周囲と肘関節周囲と手関節周囲の筋力はほぼ正常で指の曲げ伸ばしも可能な四肢麻痺者。 ※肘の伸展、指の曲げ伸ばしができ、把持力もあるが、じゃんけんのパーのように指を強く開いたり閉じたりすることができない。		△
			5	多肢切断 【解説】上肢・下肢の四肢のうち三肢体を切断し、車いすや椅子に座った姿勢で競技する者。		△
	III	脳原性麻痺 (脳性麻痺、脳血管障害、脳外傷等)	6	四肢麻痺者で車いす常用 【解説】脳原性麻痺により四肢に著しい可動域制限や協調運動障害がある者で両上肢駆動による車いす使用者。 ※車いす駆動の際、こぎしろが小さく、投球時に上肢の動きに伴い体幹や両下肢にも筋緊張が生じたり、滑らかに体を動かすことが困難。		△
			7	けって移動 【解説】脳原性麻痺による両上肢障害が重度のため、両下肢または片下肢で車いすを駆動させる者。		△
			8	片上下肢で車いす常用、または使用 【解説】脳原性麻痺による片側障害で、動かすことができる側の上肢と下肢で車いすを操作する者。 ※片麻痺者が該当。競技の時だけ車いすを使用する片麻痺者も含まれる。		△
	9	その他走不能 【解説】脳原性麻痺による下肢障害で、杖や下肢装具の使用の有無に関わらず、走ることができない者。	△			
	IV		10	電動車いす常用 【解説】脳原性麻痺や脳原性麻痺以外の四肢麻痺者で、日常的に電動車いす（JIS T9203）を使用している者。		△

※座位とは、車いす及び椅子に座った競技スタイルを言う。
 ※座位で競技する選手（区分 2～8 および 10）の選手で、移動したり、方向を変えたりすることが機能的に困難な者及びランプ使用者について、選手1名につき1名の競技アシスタントを認める。
 ※立位で競技する選手については、安全上の配慮から、投球時以外はボックス内に椅子を準備し、座位にて待機してもよい。

第33回 東北身体障がい者選手権水泳競技大会 実施要綱

【主 催】 一般社団法人宮城県障害者スポーツ協会 / 一般社団法人仙台市障害者スポーツ協会

【共 催】 宮城県 / 仙台市

【主 管】 第33回東北身体障がい者選手権水泳競技大会実行委員会
一般財団法人宮城県水泳連盟 / 仙台市水泳協会 / 東北身体障がい者水泳連盟

【後 援】(予定)

宮城県教育委員会 / 公益財団法人宮城県スポーツ協会 / 利府町水泳協会

一般社団法人日本パラ水泳連盟 / 社会福祉法人宮城県障がい者福祉協会

社会福祉法人仙台市障害者福祉協会 / 特定非営利活動法人青森県障害者スポーツ協会

一般社団法人岩手県障がい者スポーツ協会 / 一般社団法人秋田県障害者スポーツ協会

山形県障がい者スポーツ協会 / 公益財団法人福島県障がい者スポーツ協会

 河北新報社 / 朝日新聞仙台総局 / 読売新聞東北総局 / 毎日新聞仙台支局 / 産経新聞東北総局

日刊スポーツ新聞社東北総 / **NHK** 仙台放送局 / **TBC** 東北放送 /  仙台放送 / **ミヤギテレビ**

khb 東日本放送 / **エフエム仙台** / J:COM 仙台 /  fmいざみ797 / ラジオ3 FM76.2

エフエムたいはく株式会社

【協 力】

東北福祉大学 / 東北学院大学 / 東北大学 / 仙台大学 / 東北工業大学 / 一般財団法人宮城県水泳連盟学生委員会

みやぎ身体障害者水泳協会 / 仙台チャレンジスイミングクラブ / 一般社団法人宮城県理学療法士会

一般社団法人宮城県作業療法士会 / 宮城県障害者スポーツ指導者協議会 / 仙台市障害者スポーツ指導者協議会

【期 日】 2023年6月4日(日) 10:00~13:00

【会 場】 セントラルスポーツ宮城G21プール・サブプール(短水路4レーン 水深1.45m)
〒981-00122 利府町菅谷字館40-1 TEL:022-356-0450

【競技規則】 「2023年(公財)日本水泳連盟競技規則」及び「2023年(一社)日本パラ水泳連盟競技規則」によるものの他、本大会要綱および申し合わせ事項による。

【競技方法】 競技はすべてタイムレースとする。

【競技種目】 別紙「東北身体障がい者選手権水泳競技大会 実施種目/障害・クラス」を参照。

- 自由形 25m 50m 100m 200m
- 背泳ぎ 25m 50m 100m
- 平泳ぎ 25m 50m 100m
- バタフライ 25m 50m 100m
- 個人メドレー 150m 200m

※ リレー種目は実施しない。

【競技順序】 別項の通り

【表 彰】 1) 男女別, 種目別で1位の選手にメダルを授与する。
2) 表彰式は行わない。メダル, 記録証は, 後日郵送にて届ける。

【 申込規定 】

1) 出場資格

- (1) 「一般社団法人日本パラ水泳連盟」に競技者登録した者。
- (2) 宮城県内に居住する小学生以上の身体障害者手帳の交付を受けた者（内部障がい者を除く）。
- (3) 知的障がいのクラスについては、東北地区に居住する小学生以上の「一般社団法人日本知的障害者水泳連盟」に競技者登録をしている者のみとする。
 - ※ 宮城県内在住者で、日本パラ水泳連盟へ未登録の者のクラスは「オープン参加（OP）」を選択すること。
 - ※ 日本パラ水泳連盟の新規登録者で FCS クラス分けテストを受けていない者は、別紙「FCSクラス分け申込書」を提出し受検すること（実施日：2023年6月3日）。
 - ※ 「L」ステータスの選手のうち、障がい変更等で再判定を希望する者は、別紙「FCSクラス分け申込書」に新たな障がい追加されたことを証明する書類（障がい状況を証明する診断書、障がい者手帳のコピー等）を添付して提出し受検すること。

2) 出場制限

- (1) 個人種目は1人2種目以内とする。
- (2) 25m浮具付は、18歳以下の選手を対象とする。ただし、オープン参加での出場となる。
- (3) 進行の都合上、クラス及び男女に関係なく「50m競技で7分」、「100m以上の競技で15分」の制限タイムを設け、タイムがそれ以上かかった時は、レースを止める場合がある。
- (4) 今大会の「感染症防止策」については、感染状況を見ながら5月中旬を目途に、二次要項にて参加者へ通知するほか、一般社団法人宮城県障害者スポーツ協会ホームページにも提示する。（提示後も感染状況により、随時変更の可能性があるので留意すること。）

3) 参加料

一人1種目につき 1,000円。

4) 申込方法

- (1) 団体：個人種目出場申込書，団体申込総括書を作成し，参加料の振込受領書のコピーを添えて郵送。
- (2) 個人：個人出場申込書を作成し，参加料の振込受領書のコピーを添えて郵送。
 - ※ 申込締切日以降のエントリーの追加および変更は一切認めない。
 - ※ 納入された参加料等は、いかなる理由があっても返金しない。よく確認して申し込むこと。

5) 申込先

第33回 東北身体障がい者選手権水泳競技大会事務局
〒983-0836 仙台市宮城野区幸町4-6-2 (一社)宮城県障害者スポーツ協会内
FAX：022-257-1062
e-mail：kensupo1988@poplar.ocn.ne.jp

6) 振込先

< 郵便振替 > 口座番号 02250-2-45776 / 口座名義人 東北身体障害者水泳大会実行委員会

7) 申込締切日 **2023年4月21日（金）【必着】**

【日 程】

- 開場 8 : 0 0
- 受付 8 : 0 0 ~ 9 : 2 0
- 練習開放 8 : 3 0 ~
- 競技役員打合 8 : 3 0
- 代表者会議 9 : 0 0
- 開会式 9 : 4 5
- 競技時間 1 0 : 0 0 ~ 1 4 : 0 0

※ 閉会式は実施しない。

【健康・安全管理】

参加者の体調管理については介助者及び本人の責任とし、事前に医師の診断を受けるなど、健康と安全について十分留意すること。主催者側においては、大会時の傷害保険の加入と応急処置を行う以外については一切責任を負わないものとする。競技中の負傷に対する保証は、大会において加入する保険の適用範囲内とする。

【個人情報の取り扱い】

取得した個人情報は、競技会の資格審査委、プログラム編成および作成、記録発表、その他の競技運営及び、水泳競技に必要な連絡等に利用する。また、大会出場中における映像・写真・記事・記録等への掲載権は主催者に属する。

【その他】

- 1) 入退水介助、タッピングは選手側の介助者が行うこと。大会運営側でのタッピングや入退水等の介助は行わない。
- 2) 水着については、原則としてF I N A及びW P Sの規則に従うこと。
- 3) 貴重品はチームまたは個人で責任を持って管理すること。主催者は紛失等の責任を負わない。
- 4) 宿泊・昼食の斡旋は行わない。各自で手配願すること。
- 5) 本大会は、I Dカードを使用した入場制限を実施する。競技場内には、I Dカードを発行された者のみしか入場できないものとする。
- 6) 事前に体温を測定するなど、健康管理に努めること。体調がすぐれない者の会場への入場はできない。
- 7) 競技中以外はマスクを着用すること。なお、マスクは必ず持参すること。
- 8) こまめな手洗い、アルコール等による手指の消毒を行うこと。
- 9) 介添者については、最小限の人数で実施すること。
- 10) 観覧席の利用は必要最小限とし、競技終了後は速やかに退出すること。なお、着席する場合は、間隔を空けて着席すること。また、声を出しての応援は控えること。
- 11) 大会開催前又は開催中に政府および宮城県等から各種要請が発出された場合は、主催及び関係者で協議の上、大会日程の変更又は中止等を決定する。
- 12) 日本パラ水泳選手権大会・ジャパンパラ水泳競技大会への出場を希望する選手は、以下の条件を満たさなければならぬ。
 - (1) 2 0 2 3 年度に所定の手続きにより（一社）日本パラ水泳連盟に団体登録または個人登録をした者。
 - (2) クラス分け判定を受けている者。
 - (3) 地域大会で標準記録を突破した者。

13) 全国障害者スポーツ大会派遣選手の選考及び派遣について

(1) 宮城県内に居住する者の本大会の記録は、全国大会の宮城県および仙台市代表選手団の派遣候補選手選考の参考記録となる。候補選手は、別途開催される選考委員会において、全国大会主催者（鹿児島県）により指定された出場競技・選手数に基づき、選手団全体の障害別、性別、年齢、出場経験数等を考慮して最終決定される。ただし、全国障害者スポーツ大会開催基準要綱により、2023年4月1日現在、満13歳以上の選手が選考対象となる。

＜ 特別全国障害者スポーツ大会 選手団派遣日程 ＞

2023年10月26日～31日（本大会 10月28日～30日） 於：鹿児島県

(2) 全国大会への派遣は、仙台市内に居住する者、申込時に仙台市内の施設や学校等に入所及び通所、並びに通学する者は、その所在地から参加できるものとする。

※ 選手選考・派遣に関する問合せ先

- 宮城県選手団 宮城県障害者社会参加推進センター
- 仙台市選手団 一般社団法人仙台市障害者スポーツ協会

＜ 競 技 順 序 ＞

1	女子	200m個人メドレー	16	男子	100m背泳ぎ
2	男子	200m個人メドレー	17	女子	25m自由形（浮具付含む）
3	女子	150m個人メドレー	18	男子	25m自由形（浮具付含む）
4	男子	150m個人メドレー	19	女子	100m平泳ぎ
5	女子	25mバタフライ	20	男子	100m平泳ぎ
6	男子	25mバタフライ	21	女子	100mバタフライ
7	女子	25m背泳ぎ	22	男子	100mバタフライ
8	男子	25m背泳ぎ	23	女子	50m背泳ぎ
9	女子	100m自由形	24	男子	50m背泳ぎ
10	男子	100m自由形	25	女子	200m自由形
11	女子	50m平泳ぎ	26	男子	200m自由形
12	男子	50m平泳ぎ	27	女子	25m平泳ぎ
13	女子	50mバタフライ	28	男子	25m平泳ぎ
14	男子	50mバタフライ	29	女子	50m自由形（浮具付含む）
15	女子	100m背泳ぎ	30	男子	50m自由形（浮具付含む）

※ 新型コロナウイルス感染症の拡大状況により、運営内容を変更する場合がある。

